

Think Outside the Bomb(シンク・アウトサイド・ザ・ボム)、アメリカ ジェニファー・ノードストロム

私は青年中心の反核団体としてはアメリカ最大のネットワークを持つ Think Outside the Bomb (以下略、TOTB) の組織を担当しているジェニファー・ノードストロムです。私が核廃絶運動に取り組んでいるのは、この世界を愛しているからです。いい香りのするライラックの花や、小さな子犬、私のかわいい妹が大好きだからです。私が初めて被爆者のお話を聞いた時のことを覚えています。その時私は、核兵器は地球を地獄にするものだとわかりました。私が核廃絶のために行動しているのは、人生の喜びでも幸せでもある「愛」は、地獄をもたらす核兵器を作りだした恐怖や憎悪に打ち勝つことができると信じているからです。私は、私たちの世代が、世界でこの「愛」についての意識を高めていくことができると信じています。核兵器を作りだした恐怖や憎悪の意識が核兵器を廃絶することはないのですから。

今年、世界中にいる私たちのような青年は、核のない未来に向けて活発に活動を繰り広げています。今年の夏、TOTB は、核産業の発祥の地でもあるニューメキシコ州ロスアラモスで、世界中の青年を結束するイベントを行います。この Disarmament Summer (「軍縮の夏」行動) は、青年による異文化間の連合による、草の根の合意に基づく非暴力・直接行動を行う運動です。TOTB は、部族環境監視連合 (TEWA)、女性連合、安全な環境のための多文化連合、アツラン製品青年グループ、南西部先住民ウラニウムフォーラムと共に、集団的解放と持続可能な未来をめざし、核の暴力の循環に終止符を打つために活動しています。

オバマ大統領は核兵器のない世界を唱えてノーベル賞を受賞しましたが、ロスアラモス、テネシー州オークリッジ、ミズーリ州カンザスシティーの3ヶ所に新たな核兵器生産施設を建設するために、70億ドルを投入しようとしています。これらの施設建設によって、アメリカの核兵器生産能力は4倍になります。30年間の休止期間を経て、ウラン産業界は今やニューメキシコにある22ヶ所のウラン鉱山で採掘を開始、あるいは再開するための申請をし始めました。その多くは聖地にあり、ナバホ禁止法で禁止されている鉱山です。新規原子炉建設の申請が30件出されており、オバマ政権は私たちの税金を使って、少なくとも3ヶ所の原子炉に許可を出すつもりです。アメリカ政府と大企業は長い間、資源を手手するために脅迫や暴力を使って、貧しいアメリカ先住民コミュニティの環境や健康、生活を犠牲にしてきたのです。核のない将来を作るために、私たちは人種差別や暴力といった過去の遺産に決別せねばなりません。

TOTB が「軍縮の夏行動」に取り組むのは、核兵器生産施設を解体して、核兵器のない未来を構築するためです。7月30日から8月9日までの約1週間、ロスアラモスで、多文化トレーニングキャンプを予定しています。この1週間、アメリカの核兵器の廃絶を訴えて行進すると同時に、私たちの求めている持続可能な世界を作るためのスキルを学びます。今のうちにカレンダーに印をつけてください。ロスアラモスで、核兵器に対する世界的抵抗を一緒に行いましょう。このキャンプは、広島原爆65周年の8月6日に行われる、創造的な非暴力市民不服従運動を含む大規模行動となります。夏の間中、私たちはTOTB 全国反核ツアーを行い、アメリカ中を回ります。アメリカ国内の都市40か所以上を訪問するつもりですので、みなさんが住んでいる街にも呼んでください。対話や音楽、アートを通じて見識を深め、核兵器に対する抵抗の輪を広げましょう。それから、6月2日から5日までニューメキシコ州チマヨでは地球を守る活動家の多文化トレーニングも行いますし、人形劇の創作も行います。ロスアラモスのキャンプに参加したい方や、ツアーの受け入れをしたい方は、disarmamentsummer@gmail.com に連絡してください。詳細な情報、キャンプの申込、カンパの送り先は、TOTB のウェブサイトをご覧ください。

www.thinkoutsidethebomb.org